

環境ニュース

KANKYO-NEWS



第81号
平成22年8月1日発行

鎌倉市環境部
資源循環課
鎌倉市御成町18番10号
TEL 61-3396(直通)

- 1面 チャレンジ3R モニター結果
2面 3R かるた、美化ポスター 他
3面 地球温暖化対策 他
4面 3R インフォメーション 他

チャレンジ3Rモニターの調査結果発表！

「燃やすごみ」を「生ごみ」「生ごみ以外」に分別・計量して、どのくらいの重さになるか調査するチャレンジ3Rモニターを環境ニュース第79号で募集しました。今回は、その結果とモニターの皆様の感想をご紹介します。結果詳細はホームページにて掲載します。<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/seido/index.html>



モニター数は、鎌倉市在住の計58世帯。計測期間は平成22年5月下旬から6月中旬の約4週間でした。

●○ 1日一人当たりの平均 ●○



平成20年度の市民1日一人当りの「燃やすごみ」の平均は約400g、その内「生ごみ」が約半分でした。

平均と比べてみても、今回の皆さんの結果はリデュースの意識の高さが感じられますね！



●○ 生ごみの分別で工夫したこと ●○

- ・キッチンや流しに「生ごみ」と「生ごみ以外」のごみ箱を準備する工夫をしました。
- ・「生ごみ」に水をかけないようにしたら臭いが気にならなくなりました。
- ・計量していくうちに、ごみが増えないよう、買い過ぎや料理を作り過ぎないように気をつけました。



●○ 生ごみを分別した感想 ●○

- ・暑くなってきて「生ごみ」の臭いが気になりました。
- ・「生ごみ」と「生ごみ以外」を家族で理解するのに時間がかかり、分別しなおすこともありました。
- ・分別で、生ごみ以外の燃やすごみの量が少なくなり、焼却するごみの減量になると思いました。
- ・果物を食べると皮で「生ごみ」が重くなるのは仕方ないと思いつつ、罪悪感を覚えました。
- ・ティーバッグや出汁パックから茶殻などを取り出すのが手間に感じました。

●○ モニターで使用した袋について ●○

生ごみ用ビニール袋
2ℓ 196袋 5ℓ 248袋
(18×18.5、6cm マチ) (31.5×18.5、6cm マチ)
燃やすごみ用ビニール袋
10ℓ 228袋 20ℓ 108袋
(26×35、7cm マチ) (43.5×32.5、8.5cm マチ)

生ごみ用の袋は2ℓで足りる人もいるんだね！



今後、バイオマスエネルギー回収施設の計画にあたり、生ごみを分別する時の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



21年度のごみ焼却量は？

平成21年4月から平成22年3月までの1年間に、名越・今泉の両クリーンセンターで焼却したごみの量は40,173tです。世界的な不況の影響のあった20年度からは増加となりますが、過去数年間と比較すると減少傾向にあります。

市民の皆さんには日々ご協力いただき、ありがとうございます。

年度別ごみ焼却量 平成17年度～平成21年度	
平成17年度	42.002t
平成18年度	41.428t
平成19年度	41.533t
平成20年度	39.007t
平成21年度	40.173t

